



小さな一輪車全日本チャンピオン

新井 咲姫瑛さん(9歳)・菅悠さん(8歳)(須加)

今月は、静岡県焼津市で開催された全日本一輪車マラソン大会に姉弟で出場し、5km20インチ女子小学3～6年生の部、5km16インチ男子小学2年生以下の部で優勝した新井咲姫瑛さん、菅悠さんを紹介いたします。

咲姫瑛さんと菅悠さんは、やごう幼稚園に通っていたころに一輪車と出会いました。きっかけは運動会で行われていた「一輪車パレード」。2人は年長組の子供たちが自由自在に一輪車を乗りこなしている姿を見たときに、「カッコいいな。自分もあの舞台に立ちたい」と思い、練習を開始しました。一輪車に乗れるようになると、夢中になってしまったそうです。

競技会に挑戦するようになったのは、咲姫瑛さんが小学1年生のときでした。初出場した行田市一輪車大会では、50メートルとスラロームを大会新記録で優勝。咲姫瑛さんは、レースで勝つ喜びを得たことで、一層一輪車競技に熱が入るようになり、一方、菅悠さんも姉の活躍が刺激となり、それまで以上に練習に励ん



だそうです。そして、1年後の同大会で姉弟そろって優勝し、競技へのモチベーションはますます上がっていったのでした。レベルアップを目指し、平成25年5月に「上尾りんくろクラブ」に入会。さらに、一輪車競技の指導に定評がある「さいたまユニサイクル」にも入団しました。「周りの子たちがすごいスピードで走っていて、ビックリしました。入団当初、2人は技術の高さに驚いたそうです。が、熱心に練習に取り組んだことで、クラブの仲間と肩を並べるレベルまで成長していきまし。そして、これまで結果が出なかった全国規模の競技会で大会新記録を樹立したり優勝を重ねたりするなど、全国の強豪と互角に渡り合えるほどの実力を付けていったのです。

今回出場した全日本一輪車マラソン大会で、2人は初優勝を果たしました。咲姫瑛さんは「2位になった選手とずっと競り合うレースでした。早めにスパートをかけてしまい大丈夫かなと思いましたが、優勝できました。全国大会での優勝はすごくうれしいです」、菅悠さんは「目標のタイムじゃなかったのですが、まさか優勝するとは思いませんでした。メダルをかけてもらったときはとてもうれしかったです」と喜びを語り、満面の笑みを浮かべます。「今後は全日本一輪車競技大会のトラック競技で優勝を目指したい」と目標を語る咲姫瑛さんと菅悠さん。小さな一輪車全日本チャンピオンは、これからも姉弟で切磋琢磨しながら新たな目標に向かって、まっしぐらに走り続けます。

はじめまして



平成26年3月生まれのお子さんを募集します

○1月5日月～30日(金)に電話またはEメールで広報広聴課広報広聴担当(内線318)
※応募要領は市ホームページをご覧ください。
○応募者多数の場合は、2月3日(火)午後2時から市役所203会議室で公開抽選を行います。



★★★ 平成26年1月生まれのおともだち ★★★



中園 佳寿ちゃん(持田)
平成26年1月30日生まれ
父・圭介さん 母・陽子さん
元気いっぱい
「大きくなあれ!」



金子 修大ちゃん(堤根)
平成26年1月10日生まれ
父・修士さん 母・かんなさん
「大きくなあれ!」



山本 聖奈ちゃん(門井町)
平成26年1月11日生まれ
父・竜太郎さん 母・友子さん
「待ってたよ!」
「ありがとう!」



黒木 楓斗ちゃん(佐間)
平成26年1月10日生まれ
父・享さん 母・瑞樹さん
「1歳おめでとう!」
「兄弟仲良くね!」



後藤 優奈ちゃん(忍)
平成26年1月18日生まれ
父・康祐さん 母・希さん
「姉妹仲良く!元氣良〜!」



木村 僚佑ちゃん(堤根)
平成26年1月9日生まれ
父・竜之介さん 母・沙友里さん
「僚佑の笑顔が大好き!」

ぎょうだの会社を クローズアップ!!

ネクサスオート

お客さまのニーズに応える夢工場



会社プロフィール

代表 西片和弘
【事業内容】自動車整備、钣金塗装
【住所】持田2252-2

今月は、自動車のドアやホイールなどを加工し、独自の技術でお客さまのニーズに合わせた商品を提供しているネクサスオートを紹介いたします。

平成12年に創業した同社は、主にディーラーの指定工場として钣金塗装を行い、確かな技術と豊富な知識を武器に順調に業績を伸ばしていきました。そして、創業から5年がたつころ、同社に転職が訪れました。

「もっと魅力的な製品を提供しなければ。そして、今まで積み重ねてきた技術や研究の成果を生かし、お客さまの夢をかなえる仕事がしたい」代表の西片和弘さんは、創業当初から計画していた自動車の改造を新たなサービスに加えました。すると、西片さんの技術は口コミで次第に広がり、少しずつ注文が増加。特に車のドアの開き方を加工する特殊な作業ができることは、業界関係者の注目を集めました。これを機に業績もさらに向上し、現在は力

スタマイズを主な事業としているそうです。

また、同社の技術は、自動車以外のものにも取り入れられています。自動車の内装に高級感を出したり、ソフトな触感に仕上げたりするフロッキーコーティング(植毛塗装)という技術をスマートフォンのケースなどの小物にも応用。これにより、自動車のカスタマイズに縁がなかったお客さまも店頭を訪れる機会が増えたそうです。西片さんは、「型にはまらず、積極的にチャレンジすることがわが社のモットーです。自分たちにしかできない技術を生かして、新たな可能性を模索していきたいです」と語ります。

他業種との連携も開始し、ますます波に乗る同社。今後も、お客さまのニーズに応える夢工場として、魅力的な製品を世に送り出していくことでしょう。

私の作品

◎皆さんの作品を募集しています。
○俳句は毎月5日までに、はがき・封書で
広報広聴課へご応募ください。

- | | | |
|-----------------|-----|-------|
| 俳句 | 谷郷 | 大谷 峯生 |
| 旅立ちの神に急ぎの願い事 | 城南 | 町田 達男 |
| 鈴成りの柿にむらがる野鳥かな | 須加 | 原 ちか子 |
| 私まだ現役ですと冬紅葉 | 佐間 | 須永 節子 |
| 秋冷や哀しき通夜の客となる | 桜町 | 長谷川さく |
| 幾山河越え来し白寿年の暮 | 荒木 | 高澤よね子 |
| 花八ツ手なぜか娘の縁遠く | 谷郷 | 豊田 蓮里 |
| ひ孫らと影ふみに沸く注連の内 | 南河原 | 今村 文女 |
| 吊し柿のれんの如し鄙の家 | 南河原 | 若林 水翁 |
| 柿吊す秩父に多き祭りごと | 持田 | 丸山 麟一 |
| 追憶は心の憩い冬の月 | | |
| | 持田 | 麟一 |
| | 三沢 | 一水 監修 |
| しらかべに沈む夕日の秋ふかし | 柵田町 | 財津ミチエ |
| 路地菊に微笑みかける道祖神 | 齊条 | 小林 英与 |
| マイカーのアンテナの先赤蜻蛉 | 清水町 | 斉藤 文子 |
| 冬立つや田圃アートの色褪せし | 柵田町 | 春田 枕流 |
| 城壁に添う残り萩紅寂し | 持田 | 長田 義子 |
| 寒波来る拉致に朗報示されず | 下中条 | 梶原 銃司 |
| 悲しみを口に出さずに蜜柑剥く | 長野 | 篠崎 礼子 |
| 木の葉雨あびてランナー走りゆく | 荒木 | 森田 静 |
| 冬紅葉一と日一と日の命かな | 須加 | 須加かつ江 |
| 池の面の淡き秋思や日のかげり | 城西 | 佐藤ヤスコ |